

# 同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

9  
2017  
SEPTEMBER

山形県中小企業家同友会  
月刊 同友  
やまがた



国吉昌晴氏



## 2017年度役員研修会

役員としての醍醐味を味わい会社経営に生かそう

## 第2回女性部例会開催

ワークライフバランスで働きやすい環境をつくろう

## 9月例会のご案内

地域社会の主役としての  
自覚と誇りを持つとう！  
（経済を牽引するのは私達だ）

# 役員としての醍醐味を味わい会社経営に生かそう



8月18日、2017年度役員研修会が山形県産業創造支援センターに於いて開かれ、各支部の支部長をはじめとした役員27名が参加しました。当日は山形同友会設立に準備からかかわった中同協顧問・国吉昌晴氏を講師に迎え学び合いました。

冒頭、菅原代表理事は「2005年の入会后、支部幹事となり中同協主催の役員研修会、経営指針づくりに参加し、いろいろな役を引き受けてきた。振り返ると経営に同友会活動が生かされ、役員をする醍醐味がここにあると実感している。今日の地域課題として人口減少や市場縮小があり、そこに中小企業経営者が果たすべき大きな役割がある。同友会の役員の役割を学び、自社のためだけでなく、地域の期待に応える同友会にしていこう」と挨拶しました。

## I. 同友会運動の歴史と理念



講義では中同協顧問 国吉昌晴氏が「同友会役員(リーダー)の役割とは何か～同友会運動の歴史と理念から考える～」と題して講義しました。

終戦後、日本の復興が大きな課題となっていた1947年、中小企業家同友会の前身である全日本中小工業協議会(略称:全中協)が結成。全中協の特徴は「中小企業こそ日本経済の主人公との自覚と使命感を持ち日本経済を復興させる」「中小企業は平和の中でのみ繁栄できる」「中小企業の従業員の生活を守り、協力して企業を発展させる」「自主的な中小企業運動をしていく」であり、その理念は同友会の自主・民主の理念や労使見解、中小企業憲章(2010年閣議決定)に生かされていると

紹介しました。

その後、中小企業政治連盟に多くの中小企業の団体が流れましたが、全中協幹部の一部は「我々は自主的な団体」と、1957年に日本中小企業家同友会(現東京同友会)を創立し、「われらの会は中小企業の、中小企業家による、中小企業家のためのものである」「天は自ら助くるものを助く」と宣言。その考えに共鳴して、大阪、愛知、福岡、神奈川に同友会が設立されました。

中小企業家同友会全国協議会(略称:中同協)は1969年に設立。「同友会を連合体とすると各都道府県の組織が下部組織となり、上下関係は同友会に望ましくない」との議論から、「理念は同じでも各県の同友会は独立した組織で、自主的に運営する協議会」とした経緯に触れ、「これも先輩が残した財産」と語りました。

全国拠点ができただけで、1970年代の同友会運動は理念の形成と組織的展開が進みました。1973年には第5回総会で「同友会の三つの目的」を成文化。1974年のオイルショックの最中に行われた第4回中小企業問題全国研究会では「決して悪徳商人にならない」という声明を出し、「国民や地域と共に歩む中小企業をみざす」という理念の原点ができました。1975年には「中小企業における労使関係の見解(労使見解)」を発表、1977年には経営指針を確立する運動を提唱し、同友会運動の基礎が70年代に形づくられました。

80年代は大躍進の時代で1980年に会員数1万名、1986年に2万名、1990年に3万名を突破。伸びた理由として、三つの目的、労使見解、経営指針という運動で経営者にとって魅力のある学びの場が提起できたことを挙げました。

90年代に入ると同友会は本業に徹することを提起し、1990年の第22回定時総会で「同友会の三つの目的」「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域とともに歩む中小企業をみざす」という三つを同友会理念とすることを採択。1993年には「21世紀型中小企業づくり」を宣言。バブル崩壊から長期不況へ入った時期で会員数が減少した同友会もあり、どうすれば同友会らしい学びができるかと、例会やグループ討論のあり方を考え合った時期でした。

90年代後半には貸し流し・貸し剥がしという大きな問題が発生し、2000年に地域金融機関と中小企業が共存共栄の関係をつくらうと、金融アセスメント法制定を提唱して運動を展開。その結果、法律自体は制定されませんでした。後に



我々中小企業が望む方向に金融行政が変わるきっかけになりました。

また、山形同友会が、きらやか銀行・山形県内の信用金庫協会・山形大学と結んだ連携協力協定は全国的にも先進事例となり、信用金庫協会の月刊誌に掲載されたことを紹介。「このような積み上げが出来たのは、同友会の基本理念を深く掘り下げてきたからであり、三つの目的の総合実践として進めてきたから。同友会で学び、企業づくりを進め、経営者の力を蓄え、社員・お客様・仲間から信頼される経営者として成長する。そういった努力が2012年に山形県、2013年に飯豊町、2015年に米沢市、天童市、2016年に川西町での振興条例制定に繋がっていった。条例を活かし、地域を元気にするには、我々のような中小企業が幾つあるか。三つの目的の総合実践をする企業が地域からあてにされる存在になってきている」と述べました。

## II. 同友会役員役割とは

国吉氏は常に学ぶ先頭に立ち、同友会理念を実践する同友会のリーダーのあり方に触れ、『同友会理念の体現者』として同友会役員のテキスト『同友会運動の発展のために』から5点挙げました。

- 一、同友会理念を経営にとり入れ、同友会とともに発展する企業づくりを目指しましょう。「同友会に参加して、こんなに自分も成長し企業も伸びた」と経営体験を率直に語れる役員が多いほど同友会は生き生きと発展していきます。
- 一、会運営に「自主・民主・連帯の精神」を生かすことに習熟しましょう。既存の権威や慣習にとらわれず、会員一人ひとりの声や要望を大切に、何よりも会の団結を重視しましょう。
- 一、会内では自由闊達な論議を保障し、相手の意見を尊重し、謙虚に学び合い、絶えず経営者としての自己変革を遂げていく、まず、役員自身がその模範となります。
- 一、同友会は中小企業家と中小企業で働く人たちの努力が

報われる社会、経済システムの充実を願って展開される中小企業運動です。同友会の日常の活動を中小企業運動としてのマクロな視点から捉え、同友会の果たすべき歴史的、社会的役割をしっかりと考えていきましょう。

- 一、同友会運動と他の中小企業団体との違いもはっきりと認識すべきです。それは個々の企業体質の改善と経営者としての総合的能力を高める課題を運動の目的におき、経営環境改善の運動と一体化して、創造的に展開していることにあります。そのことに自信と誇りを持って会運営にのぞみたいものです。

その上で、「役員の方々は、自信を持って同友会と共に成長しているということをお話いただけますか」と問いかけ、鋤柄前中同協会長の不離一体シートを紹介し、同友会の活動と会社の経営は不離一体で、同友会の役員をすることで会社に変化していくと強調しました。

そして、運動と活動の違いとして『『大きなめあて』をめざして進めていくのが運動。運動と大きく構えながら日常の役員のあり方を学ぶために役員研修会を行うのが活動。21世紀に入り、金融アセスメント運動、中小企業憲章・振興条例・エネルギーシフト運動と発言の場が広がり、同友会の地域に果たす役割が大きくなった。自社と同友会の両面から地域の発展を担う役割を論議し、実践することが求められている」と語り、三つの目的の総合実践を捉え直すこと、「自主・民主・連帯」の理念を大切に、謙虚に行政・他団体・金融機関などとの連携を大切にすること、仲間を増やすことを提起しました。

引き続き行われたグループ討論では、「役員役割とは？同友会理念の体現者とは？」をテーマに語り合いました。

最後に座長を務めた西塔代表理事が「同友会の歴史と理念を再認識できたと思います。先輩方が長い年月をかけた討論と実践で同友会理念ができた。今、この理念が大事な時で、三つの目的の総合実践です。いろいろな方から期待が高まり、それに応える同友会にするために同友会理念の体現者をめざしましょう。そして学んだことを周りの人に広げ、仲間を増やしていきましょう」と述べました。



## 第2回女性部例会開催

# ワークライフバランスで働きやすい環境をつくろう



第2回女性部例会は、「ライフワークバランス 県の取り組みを学ぶ」(今回はあえてライフが先にきています)のテーマでした。当日は山形県・若者活躍・男女共同参画課 男女共同参画専門員 高子郁子氏、子育て推進課 須藤崇氏を迎え、会員参加者16名で開催されました。今年度、女性部が掲げる課題の「ライフワークバランスってそもそも何？自社の経営でどこから取り組めばいいの？」をもとに、まずは知ろう！という例会でした。

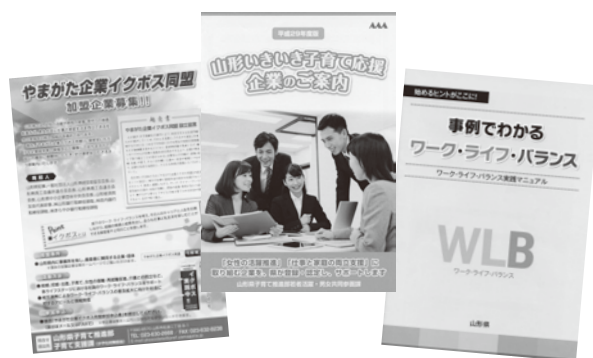
2005年頃から国ではこの問題に取り組み始め、県でも、「男女いきいき子育て応援企業登録制度」を皮切りに、ワークライフバランス憲章の締結がなされていました。この憲章は、「世代間や地域住民同士で支えあい、家庭生活・仕事・地域活動において調和がとれた生き方ができる『やまがた』らしい社会の実現に向け、しっかりと考え、実践！」という、素晴らしい内容です。実際に、知らなかった会員も多数いました。

ワークライフバランスに取り組むことは、企業にとって多様な働き方のニーズを持つ人材を積極的に登用し活かすなど、明日への投資になること、働きやすい環境の整備で、従業員満足の上昇・勤務意欲の上昇につながることを提言して頂きました。

そして、各種取り組み認定制度の活用で、奨励金交付・優遇金利・入札評価の加点など多数のメリットも準備されておりました。

何よりも、このワークライフバランスの概念を学び、自社に落とし込んで環境整備に取り掛かることが、同友会で言うところの科学性・社会性・人間性の部分を深める実践活動に直結すると感じました。

詳細は、パンフレットに細かく記載されています。多数お持ちいただき、事務局に設置していますので是非閲覧してみてください。まずは、各種取り組みの認定制度に加盟してみたいかでしょうか？



▲「ワークライフバランス」パンフレット

講義の中で、うすうす気づいてはいましたが、山形県の「人口構造の変化」で、2025年には生産年齢人口の13%減、2040年には40%減！とのこと。これはまさに、10年後20年後、自社の未来にかかわる一大事です。さあ今すぐ、自社の社員が働き続けられる仕組みの整備や充実した毎日のための働き方改革、人材確保のための職場改革を始めましょう！女性部と共に学び始めれば、着実に一歩進めるはずですよ！次回例会は、9月19日(火)、すでに取り組みで表彰された会員企業の報告です。是非ご参加ください。

(報告:赤塚治美)



# 9月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

## 山形支部

### 社内会議で組織風土が変わる!

2017.9.26 (火) 18:30~21:00

場所: 山形テルサ 2F リハーサル室  
山形市双葉町1丁目2-3 ☎023-646-6677

報告者: ㈱菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司 薫氏

経営指針を作成するも業績は思ったとおりにはならず、焦る毎日…。それでもあきらめず、同友会で学んだことを会社に持ち帰り、少しずつ仕組みをつくってきました。管理する項目を決め、データを収集し、その数字を社員と共有することにより定期的に成果と改善点についての話し合う場ができてきました。家庭をもった女性だけの職場で、スタッフの一人ひとりが輝く会社が見えてきました。これからもビジョンの形成と浸透を目指す、想いをこめた庄司社長の報告です。ぜひ、お誘い合わせの上で参加をお願い致します。

## 寒河江支部

### 10年前に成文化した 経営指針を活かして!!

2017.9.27 (水) 19:00~21:00

場所: 寒河江市技術交流プラザ 第1研修室  
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者: ㈱花泉 代表取締役 大泉拓也氏

平成17年、24年に全日本花卉装飾技術選抜選手権で内閣総理大臣賞を受賞した大泉氏が社長に就任したのは5年前。市場の変化やお客様の動きが変わっていく中で、店長時代に作成した経営指針書を活かし、時代の変化に対応しながら経営に取り組んでいます。「お客さんの満足」を追求し品質を大切にしてきた創業者の父から引き継いだ会社だからこそ、思いを継承しつつ、技術力・デザイン力を磨き挑戦し続ける大泉氏の報告に学び合います。

## さくらんぼ支部

### 『運命(ハコブイノチ)』 ～発送の変換交響曲第GO!番♪～

2017.9.22 (金) 18:30~21:00

場所: まなびあテラス 講座室  
東根市中央南一丁目7-3 ☎0237-53-0223

報告者: トヨタライン(株) 代表取締役社長 齋藤和彦氏

燃料費の上昇、運賃の値下げ、人手(ドライバー)不足、そしてどの業界よりも厳しい法令遵守を求められる運送業界。そんな先行き不透明な業界ですが、齋藤社長は、どうせやるなら楽しく、そして他の人がやらないような考え(方法)で業界を引っ張っていく経営を実践しております。「仕事に合わせて人を採用するのではなく、いる人に合わせて仕事を作る」「無理な値下げ交渉には応じない、それで取引が終了するのならそれは新しい仕事を作るチャンスだ」「小さい会社は身軽な分様々な事にチャレンジできる」などなど。荷主のためだけに荷物を運ぶのではなく、業界のために「風景や想い」も運ぶなど、「運ぶ」という「使命」に対して柔軟に時代に乗り、国道より独自路線を走っている齋藤社長ですが、様々な経営課題に対する選択と対処の姿勢は、どのような業界であっても参考になること間違いありません。齋藤社長の前向きなお話は、我々を楽しく柔軟な頭にしてくれるはず。動くって楽しい! by 齋藤和彦」ぜひ、お誘い合わせの上で参加をお願い致します。

## 置賜支部

### 同友会を経営に生かすためには ～会員オリエンテーション～

2017.9.21 (木) 18:30~20:30

場所: 伝国の杜 大会議室  
米沢市丸の内1丁目2-1 ☎0238-26-2666

体験報告者: ㈱南陽総建 代表取締役 石川晴久氏

今回の例会は、「会員オリエンテーション」の位置づけで行います。同友会を更にするチャンスです。同友会は会員のみならず「入会してよかった」「同友会に入ってから会社よかった」といわれる活動をめざしています。会社発展に役立つためには、同友会をより深く理解していただきたいと考えています。

体験報告では、㈱南陽総建 代表取締役 石川晴久氏に、「同友会」を自社にどう活用してきたか、どんな成果がでてきているのかをお話していただきます。

新会員の方は同友会で何を学ぶか、どう活かすかを知り、ベテランの会員の方は更に深めるきっかけになっていただければと思います。また、ゲスト参加も大歓迎、お知り合いの経営者をお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

## 庄内支部

### 社員がいきいき働ける環境ですか?

2017.9.26(火)18:30~21:00

場所: 鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」 大会議室  
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者: 三浦慎士氏

(元・県教育庁庄内教育事務所所長 元・鶴岡市立朝陽第三小学校校長ほか)

今年70歳になられる三浦慎士先生は「人が好き!」とおっしゃいます。先生から語られる言葉には、「教育を超えて心に響くもの」がたくさんあります。

34年間の教員生活のうち23年間を「学校経営」に携わってこられた先生のお話には明日からの「会社経営」に活かせるヒントが満載!!「言葉」の持つ力で経営者自身の人間力を高める、社員さんとの関係が変わる～そんな例会に多数のご参加お待ちしております!もちろん、ゲストさんの参加も大歓迎!

## 新庄最上支部

### 中間管理職の役割と悩み ～部下との信頼関係をどう築くか～

2017.9.28(木)18:30~21:00

場所: 新庄市民プラザ 3階小ホール  
新庄市大手町1-60 ☎0233-22-4200

報告者: ㈱セロン東北新庄営業所 所長 樋渡 守氏

埼玉県で生まれて育った樋渡氏は家族の事情で突然、新庄で暮らすことに。ギャップに戸惑う中、2011年に㈱セロン東北へ入社します。

求人募集をしても人が集まらない今、社員が退職しない活力とやりがいのある職場づくりをめざしています。

中間管理職として、会社の理念や方針を理解浸透させるため、働きやすい職場をつくるための取り組みの実践を報告します。お誘い合わせの上、ご参加ください。

# 第4回理事会報告

◆日時:2017年8月9日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形ビッグウイング ◆議長:越前屋副代表理事  
◆出席者:(敬称略)川合、西塔、越前屋、菊池、小川、阿部(和)、小林、赤塚、阿部(秀)、阿部(敦)、武内、庄司、板垣、八代、佐藤(啓)、事務局 矢作、後藤、芳賀

## ■開会挨拶

西塔代表理事が「中小企業家しんぶん8/5号」の広浜会長の新役員代表挨拶を紹介し、「私たちがこれに倣いながらやっていきたい。特に感じるのは最後の責任は自分。同友会は指示命令では動かない。どうしたら皆さんが自主的に動くか。うまくいかなかったら自分が責任を取る。私たちが決めたことは必ず達成しましょう」と述べました。

## ■学習会

### ●報告者:阿部秀顕理事

阿部秀顕理事から、養豚業界の構造、業界と情勢の関わりといった側面から報告がありました。

次回報告者 阿部敦理事

## ■報告事項

### 1)第49回定時総会の報告(文書報告)

### 2)2017全国事務局員研修会(7/19~21 1名参加)

3日間の研修で2日間座学、3日目が会員企業の見学。事務局でも経営者でも自分から行動出来なければ何も変わらない。「自分たちは何ができるか」を考える人間だと同友会内や政治に何が起こってもやって行けるのだろうと感じた。その為には同友会理念や労使見解の理解が必要でこれからも頑張っていく。(芳賀事務局員)

### 3)各委員会・部会よりの報告

経営指針委員会、社員共育委員会、共同求人委員会、地域活性委員会、女性部会、食・農部会より7月の活動報告が行われた。

また、憲章・条例学習会で地域活性委員会の活動の重要性が認識されたが、委員会の参加者が低迷しており、新たに委員会のメンバーを募る必要があるという意見があり、越前屋地域活性委員長より理事の皆さんにメンバーへお声掛けする際に協力をお願いがありました。

### 4)各支部よりの報告

山形支部、寒河江支部、さくらんぼ支部、置賜支部、庄内支部、新庄最上支部より7月の入退会状況、例会の参加状況と成果と課題、8月例会について報告が行われました。

### 5)2017年度7月月次決算報告(矢作事務局長)

## ■承認事項(入・退会承認) 2名入会 3名退会 8/9現在411名

## ■討議事項

### 議題1:2017年度役員研修会(8/18)について

西塔代表理事より現在の参加状況の報告があり、まだ未回答の方に参加呼びかけを行っていくことになりました。次にタイムスケジュールを確認し、グループ長の人選が承認されました。

### 議題2:第14回経営研究集会について

実行委員長の佐藤理事からスローガン・開催目的・基調講演等の開催要項が提案され承認されました。

#### 1)スローガン

きらり☆ひとが輝く企業づくりで元気な地域をつくらう!

#### 2)開催目的

- ①人口減少が大きな地域課題となる中、労働力を確保するため、障がい者・就労困難者・女性の力を活用した多様な働き方を実践する事例に学び、誰もが生き生きと働くことができるダイバーシティ企業をめざします。
- ②将来にわたり安心して暮らすことができる社会の実現に向けて「働き方改革」を考え、社員が自主性や創造力を発揮できる為の採用と教育、そして労働環境整備に取り組む機会とします。
- ③IoT、AIなどの技術革新の活用や、様々な分野での連携で社会的課題を解決する新たな仕事づくりや産業の創造による地域づくりを考え合います。

#### 4)基調講演

演題:雇用創造革命 ~30大雇用、誰もが働ける社会を目指して

講師:アイエスエフネットグループ 代表 渡邊幸義氏

### 議題3:組織委員会より

阿部(秀)理事が4委員会合同例会(9/11)の企画についての説明を行った後、新会員オリエンテーションの2015年度の未受講者の8割受講を目標にすること、組織計画では会員数目標と実勢の差が出てきているので、ギャップを埋める計画を作成することが組織委員会で決まり、協力をお願いがありました。

### 議題4:北海道・東北ブロック、全国行事参加について

北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会(9/7~8 函館)、第45回青年経営者全国交流会(9/14~15 茨城)の参加者確認と参加呼び掛けを行いました。

## ■その他

### 1)東北青年経営者フォーラムについて

●日時:2018年2月10日 ●開催地:宮城県

### 2)報告依頼について

①8/30、秋田同友会「社員共育委員会」にて阿部委員長が幹部社員研修の取り組みを報告。

②11/2、新潟同友会「中小企業フォーラム2017」の分科会にて菅原代表理事が分科会で報告。

### 3)今後の予定

*役員研修会	8月18日(金)13:00~ 産業創造支援センター
2017経営労働問題全国交流会	8月31日(木)~9月1日(金)京都
中同協・経営労働委員会	9月1日(金)京都
北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会	9月7日(木)~8日(金)函館
北海道・東北ブロック代表者会議	9月8日(金)函館
中同協共同求人・社員教育合同委員会	9月7日(木)~8日(金)東京
*4委員会合同例会	9月11日(月)16:00~ 山形テルサ
第45回青年経営者全国交流会	9月14日(木)~15日(金)茨城
中同協・女性部連絡会	9月21日(木)~22日(金)東京
*新入社員フォローアップ研修	9月25日(月)9:00~ 山形ビッグウイング
中同協・第2回幹事会	10月5日(木)東京
2017組織強化・増強・拡大全国交流会	10月5日(木)~6日(金)東京
中同協・役員研修会	10月26日(木)~27日(金)福島

### 4)第5回理事会日程

●日時:9月13日(水)午後3時~午後5時

●会場:山形ビッグウイング

## ■閉会挨拶(菅原代表理事)

赤塚理事が「地域活性委員会の課題が出された。『よい会社をつくらう』『よい経営者になろう』『よい経営環境をつくらう』という三つの目的との関係が深いと感じるので、率先してよい仕組みをつくり、委員会活動の盛り上げにつなげたい」と述べました。

## 新会員紹介

としのり  
◎阿部 利徳氏  
合同会社 東根フルーツワイン  
代表  
ワイン製造・販売  
さくらんぼ支部

たかひろ  
◎松浦 尚宏氏  
松浦園芸  
農業 だだちゃ豆、米、トマト  
庄内支部

### 役職変更

●山形印刷(株) 取締役営業部長  
⇒代表取締役 岡崎 正悦氏(山形支部)

同友やまがた9月号(2017年9月1日発行/通巻294号)



“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号  
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583  
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp